

## 役割・グループワークの流れについて（案）

## ○集合時間

- 13:00 ～ 総合司会，GW 司会，懇親会司会，多職種連携研修作業部会メンバー  
順次，ファシリテーターと各グループの司会者との顔合わせ
- 13:50 ～ ファシリテーターと GW 内の司会者と打ち合わせ

## ○ファシリテーターのペア

- ペア① 京谷様，奴賀様  
ペア② 山上様，室田様  
ペア③ 橋浦様，齋藤様  
ペア④ 益井様，宮城様  
ペア⑤ 川村様，白川様

## ○役割分担

総合司会 水越様

GW 司会 阿部様

懇親会司会 山上様

会場誘導係 宮城様，益井様，齋藤様，室田様

マイク係 白川様，川村様，奴賀様

カメラ係 橋浦様，京谷様

## ○ファシリテーターから各グループの司会へ渡してもらう物

- ・ファシリテーターとグループ司会者との顔合わせ
- ・司会用の「グループワーク進行上のお願い」
- ・グループワークのルール

## グループワークの進め方

### ○グループワークのねらい

- ・自身が感じる壁について考え、互いに共有することで、在宅支援における地域の課題を把握する。
- ・本人の思いを叶えるチーム支援を実現するために、どのような取り組みを進めるとよいのかを考える。
- ・明日から自分たちができることを考える。

### ○グループワークの内容

- ・(テーマ1) 在宅(自宅・施設)生活ムリだよねの壁について  
(自身の経験の中で感じる壁、シンポジストの話を聞いての気づき等)
- ・(テーマ2) 壁を越えるため実践できること、明日から自分たちができそうなこと
- ・上記のテーマ1・2について司会者を中心に進行してもらい、書記が模造紙に記入する
- ・発表グループは、テーマ1・2及び質問があれば話してもらう

### ○多職種でのメンバー構成、各グループに司会者をあらかじめ設定する

### ○グループワーク参加者～●●●名(●人掛け×●●テーブル)

### ○タイムテーブル

|                |  |
|----------------|--|
| 15:30<br>(5分)  | <p>○グループ内での自己紹介をするにあたっての説明<br/>(グループワークの説明：阿部様)：1分</p> <p>○各グループ内、自己紹介：4分(1人20～30秒程度)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・司会は、予め事務局で決めさせてもらっていることを伝える</li><li>・自己紹介(所属先、職種、氏名)</li><li>・サイ五郎さんのカードに書いてある質問について一人一言ずつ話してもらう</li></ul>  |
| 15:35<br>(50分) | <p>○グループワーク</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・書記、発表者を決めてもらう</li><li>・テーマの説明</li><li>・グループワーク開始</li><li>・(テーマ1) 在宅(自宅・施設)生活ムリだよねの壁について<br/>(自身の経験の中で感じる壁、シンポジストの話を聞いての気づき等)</li><li>・(テーマ2) 壁を越えるため実践できること、明日から自分たちができそうなこと</li></ul>  |
| 16:25<br>(30分) | <p>○グループワーク発表・意見交換～総評(座長：川口先生)</p> <p>各シンポジスト：高畑様、奥山様、酒井様、清水先生</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・事前に打ち合わせた順番でグループ発表。詳しくは、(発表グループの選定を参照)</li><li>・発表内容は、テーマ1・2及び質問<br/>川口先生の進行で、発表内容に対し各シンポジストからコメントをもらう</li><li>・意見交換<br/>この場で是非聞きたいという質問のある人に挙手してもらい、その質問に各シンポジストからコメントをもらう</li><li>・総評<br/>座長、各シンポジストからコメントをもらう</li></ul> |

## ○模造紙と模造紙半分の用紙のイメージ

- ・模造紙には、（テーマ1）、（テーマ2）について記入する。
- ・模造紙半分の用紙には、シンポジストや座長に聞きたいことを記入する。

### <模造紙>

|  |   |
|--|---|
| <div>「病院・在宅・施設の立場から考える<br/>～在宅（自宅・施設）生活ムリだよねの壁を越えてみませんか？」</div>                          |   |
| <div>（テーマ1）<br/>在宅（自宅・施設）生活ムリだよねの壁について（自身の経験の中で感じる壁、シンポジストの話を聞いての気づき等）<br/>・<br/>・</div> | <div>（テーマ2）<br/>壁を越えるため実践できること、明日から自分たちができそうなこと<br/>・<br/>・<br/>・</div> |

### <模造紙半分の用紙>

|  |
|--|
| <div>質問用紙<br/>シンポジスト、座長に是非、聞きたいことがありましたら、こちらに記載してください<br/><br/>・<br/>・<br/>・<br/>・</div> |
|--|

## ○ファシリテーターの役割

### 【テーマ1】止まっているグループ、または発言ができていない人がいたら介入

- ・各々が感じている支援をするうえでの壁やシンポジストのお話を聞いて壁に感じる事等
- ・こんな壁（感想）で良いのか？と思うようなことでも発言の機会をもってもらおう。

### 【テーマ2】止まっているグループ、または発言ができていない人がいたら介入

- ・壁を越えるためそれぞれ実践ができること、明日からでも自分たちができそうなことは何かを考えられるようどんな事だったら始められるのか、明日からできることに限らず、少し先（将来）に向けてできそうなことでも良いので話してもらえように促す。
- ・今、自分たちができていることに気づく機会でもある事を伝える。（例えば、自身が実践していることだけでなく、他者から提案があったことをどこまでできるのか等）
- ・職種によっては経験の無い場面の話が出て参加できるように声掛けする。  
（シンポジストの話や他の人の話を参考にイメージを膨らませてディスカッションに入ってもらおうよう促す）

### 【全体として気をつける事について】

- ・自身が思う壁やシンポジストの講演内容にある壁についての発言に批判や批評、指導をするようなことがあった場合は適切に介入する。
- ・専門用語のレクチャーなどが長く続くような状況があった場合は適切に介入する。（「そろそろテーマのディスカッションに戻りましょうか」「その話題（疑問）で聞きたいことが出た場合は、全体の意見交換の時間に確認してみてもはどうでしょうか」等）
- ・特定の人が話し続けるという状況があった場合は適切に介入する。
- ・特定の職種・事業所等の批判や批評にならないように配慮する。

### 【発表グループの選定】

- ① ファシリテーター●～●人がペアになってもらい●～●グループを担当します。
- ② 各担当グループのうち、ねらいに沿った話ができているグループや、ぜひ全体で共有したいと思われるグループをペアのファシリテーターと相談して1グループを選定する。
- ③ 16:15（グループワーク終了10分前位）になったらファシリテーター席に集まり、選定グループを報告（全5グループになる予定）
- ④ ファシリテーターと座長、センター間で相談して、発表してもらう順番を決める。（時間があれば全5グループ、時間がなければ3グループ程度）

※全体で共有した方が良いと思われる質問等があった場合は、意見交換の場面で対応する旨を伝え、発表に当たったグループは、シンポジスト、座長に聞きたいことについても話してもらう。当たらないグループは、後日センターのホームページにて掲載する旨伝える。

### 【見 本】

○ファシリテーター

ペア：\_\_\_\_\_

選んだグループ番号：\_\_\_\_\_

選んだポイント：\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

## グループワーク進行上のお願い

### ○ファシリテーターと司会者との顔合わせ

- ・各グループを担当するファシリテーターがいます
- ・司会者が進行する中で困ったらファシリテーターへ声を掛けてください。

### ○テーマ

（テーマ1）在宅（自宅・施設）生活ムリだよねの壁について

（自身の経験の中で感じる壁，シンポジストの話を聞いての気づき等）

- ・（テーマ2）壁を越えるため実践できること，明日から自分たちができそうなこと

### ○タイムテーブル

|                |   |
|----------------|---|
| 15：30<br>（5分）  | <p>○グループ内での自己紹介をするにあたっての説明<br/>（グループワークの説明：阿部様）：1分</p> <p>○各グループ内，自己紹介：4分（1人20～30秒程度）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・司会は，予め事務局で決めさせてもらっていることを伝える</li> <li>・自己紹介（所属先，職種，氏名）</li> <li>・サイ五郎さんのカードに書いてある質問について一人一言ずつ話してもらう</li> </ul> |
| 15：35<br>（50分） | <p>○グループワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書記，発表者を決定する</li> <li>・司会者の進行のもと，（テーマ1）と（テーマ2）についてグループワークする</li> <li>・書記は同じような意見をまとめたり，追加で出た意見等を模造紙に追記する</li> </ul>  |
| 16：25<br>（30分） | <p>○グループワーク発表・意見交換～総評</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・座長進行のもと発表グループに選ばれた場合は，（テーマ1）と（テーマ2）ともし質問があった場合は，それも合わせて発表する</li> <li>・発表グループに選ばれなかったグループも質問がある場合には挙手する</li> </ul>   |

### ○グループワークの進行について \*別紙「グループワークのルール」参照

- ・グループ内で話しやすい雰囲気となるように別紙「グループワークのルール」に記載されている内容を参考にして進めてください。常にこのルールを意識できるようにテーブルの上に置いてもらったり，口頭で伝えたりしてください。
- ・グループ内で1人の方が話し続けているようであれば声掛けをしてあげてください。（「そろそろテーマのディスカッションに戻りましょうか」「他の方のご意見も聞いてみましょう」等）

### ○模造紙と半分の模造紙について

- ・模造紙には，（テーマ1）と（テーマ2）について書記に記載してもらいます。
- ・半分の模造紙には，シンポジスト，座長に是非，聞きたいことがあった場合に記載してもらいます。

## グループワークのルール

○グループワークを円滑に進めるために下記のことを心掛けましょう。

### テーマに沿って話しましょう

話が脱線しても

必ず（テーマ1）と（テーマ2）に戻りましょう

### みんなで話しましょう

「こんな事話していいのかな」と思わずに

どんどんお話ししてください

### 経験の有無に関係なく

### イメージしてみましょう

もしも自分だったら、自分が支援するとしたら

などを想像してみましょう

### 批判・否定しないように しましょう

グループ内の人の発言にネガティブな

判断をしないようにしましょう